南あわじ市のあゆみ

平成17年 ➡ 平成29年

- 平成17年1月 ■南あわじ市誕生
- 9月 ■南あわじ市誕生記念式典開催❶
- 平成18年8月 ■南あわじ夢祭２００６開催、
- 10月 のじぎく兵庫国体を開催
- 12月 ■南あわじ市１００人委員会から施策提言
- 12月 ■南あわじ市総合計画を策定
- 平成19年7月 ■子育て応援シンボルキャラクター「ゆめるん」誕生
- 8月 ■縁結び事業推進協議会を発足
- 平成20年2月 ■南あわじ市財政健全化計画を策定
- 4月 ■ケーブルテレビが市内全域で本放送開始❷
- 5月 ■コミュニティバス「らん・らんバス」運行開始❸
- 12月 ■市民の暮らし応援振興券を発売
- 平成21年1月 ■市内小中学校の耐震化１００％を達成
- 2月 ■庁舎等公共施設整備検討委員会が答申
- 9月 ■ふるさと特産物宅配便を販売
- 平成22年1月 ■市民憲章、市の花、市の木を制定
- 2月 ■市制5周年記念「市民のつどい」を開催
- 平成23年1月 ■市新庁舎基本イメージを発表
- 12月 ■アジア国際子ども映画祭本選大会を開催❹
- 12月 ■「あわじ環境未来島特区」の指定
- 平成25年4月 ■吉備国際大学南あわじ志知キャンパスが開学
- 平成26年12月 ■兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会が発足❺
- 平成27年1月 ■市役所新庁舎が完成
- 3月 ■あわじ島まるごと食の拠点施設直売所がオープン❻
- 3月 ■若人の広場公園がオープン❼
- 4月 ■市民交流センターが21地区で開設
- 4月 ■市役所新庁舎が開庁❽
- 11月 ■市制10周年記念式典を開催❾
- 平成28年1月 ■シティプロモーション「あわじ国」全国展開
- 3月 ■南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定
- 4月 ■「国生みの島・淡路」が日本遺産に認定❿

～夢出せ！知恵出せ！元気出せ！～
更なる輝きを放つ南あわじ市に期待

南あわじ市誕生から初代市長として3期を務める中田市長。昨年9月、今期限りでの退任を表明しました。今月号では中田市長のインタビューで12年を振り返りたいと思います。

南あわじ市開庁式
平成17年1月11日に南あわじ市が誕生。初日には開庁式が執り行われました。

◆3期12年を振り返って

平成17年に初代南あわじ市長として市民の皆様の負託をいただいて、12年を迎えようとしています。いろいろな出来事が思い出されますが、とても充実した日々でした。

合併後は1日も早く1つの市としてまとまるまちをめざしました。苦労したこともありましたが、今では一体感のある魅力あふれる市になったと感じています。これもひとえに、市民の皆様と議員の先生方、国・県をはじめとする多くの方々のご理解ご協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。

市の最重要施策の1つが少子対策事業でありました。中学3年生までの医療費無料化をはじめ、熟慮断行であった3歳児以上の保育料無料化などに取り組んだ結果、平成17年に1・51であった合計特殊出生率は、平成27年には県内で1番高い1・83となりました。数字に一喜一憂するわけではありませんが、これまでの事業の成果の指標の1つであり、大変うれしく思います。「子どもは南あわじ市の宝」これからの南あわじ市を担う若者が今後も増えてくれることを期待しています。

合併当初、厳しかった財政状況も、現在では健全財政を堅持できるようになりました。この間も防災減災対策や産業振興、教育環境整備、福祉の向上など数えきれない事業を着実に実施することができました。

12年間で、南あわじ市はさまざまな面で発展・進化してきました。これからの南あわじ市が更なる輝きを放つことを私も楽しみにしています。

◆市民の皆様へ

私は、南あわじ市が全国各地に勝るとも劣らない多くのふるさと資源を有する誇れるまちであると思っております。

「夢出せ！知恵出せ！元気出せ！」私の好きな言葉であり、常日頃から職員にも伝えてきました。地域（地方）創生の時代、南あわじ市が勝ち抜くためには、なお一層の創意工夫と努力が必要です。市民の皆様と議員の先生方、行政が国・県とも連携し、夢・知恵・元気を出し合い、さらにはばたく南あわじ市を創って欲しいと思います。

最後に、これまで施策にご理解ご協力くださった皆様に改めて感謝を申し上げ、最後のごあいさつとさせていただきます。

中田勝久市長
昭和12年生まれ。昭和62年7月に三原町議会議員に初当選し、平成6年7月には三原町長に就任。3期目中に、三原郡4町の合併により退職。平成17年2月に初代南あわじ市長として就任し、現在、3期目を務める。